



日本大学芸術学部・武蔵大学・武蔵野音楽大学 区内3大学と包括的な連携・協力を推進

～包括的な連携・協力に関する協定を締結～

協定締結日 9月11日(水) 午後5時

11日、区と日本大学芸術学部、武蔵大学および武蔵野音楽大学は、これまで醸成してきた連携・協力をさらに深化させていくため、包括的な協定を締結する。

これまでも区と3大学は、区民のための公開講座の共催をはじめ、70を超える事業で連携するとともに、20を超える会議体に、教員や学生の皆さんに参加いただいている。

この協定に基づき、11月に練馬区で開催する世界都市農業サミットに向けた機運を醸成するなど、世代や地域を超えた活性化の取組を進めていく。



▲協定を締結した4者の代表者

(写真左から

日本大学芸術学部 木村 政司 学部長

練馬区長 前川 耀男

武蔵大学 山崎 哲哉 学長

武蔵野音楽大学 福井 直敬 学長)

【協定に基づく連携・協力】

(1) 具体的に連携・協力を進める事業

① 世界都市農業サミット

事前のPR活動や、サミット関連イベントへの出演などの協力

② 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

100日前イベント、選手壮行会、聖火リレー等のボランティア

③ 江古田カレッジトライアングル

練馬産野菜を使ったメニューの提供、スタンプラリー

(2) 引き続き連携・協力を拡大していく分野

教育、芸術・映像文化、都市農業、防災、国際化・地域交流など

(3) 協議会の設置

4者による協議会を設置し、

総合的な協議および調整を行う。



▲4者による協定締結の様子